

資料

令和4年12月19日

海南市水道料金審議会 (第3回)

海南市水道部



水道事業の経営分析について

経営指標に関する事項（令和3年度決算）

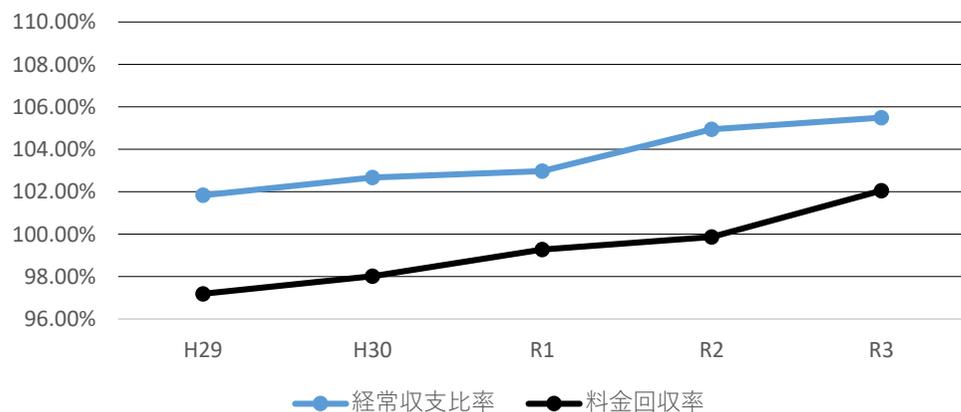
令和3年度決算における経営成績について、経営の健全性を示す経常収支比率は、前年度比0.55ポイント増の105.49%となり、健全経営の水準とされる100%を上回っています。また、料金水準の妥当性を示す料金回収率は、前年度比2.18ポイント増の102.05%となり、事業に必要な費用を給水収益で賄っている状況とされる100%を上回っています。

一方、償却対象資産の減価償却の状況を示す有形固定資産減価償却率は前年度比1.7ポイント増の48.47%、法定耐用年数を経過した管路延長の割合を示す管路経年化率は前年度比2.46ポイント減の31.16%となり、当該年度に更新した管路延長の割合を示す管路更新率は前年度比0.11ポイント増の0.37%となっています。今後も、将来の更新需要に備え、現在の経営状況を維持しつつ、引き続き計画的な施設の更新を行ってまいります。

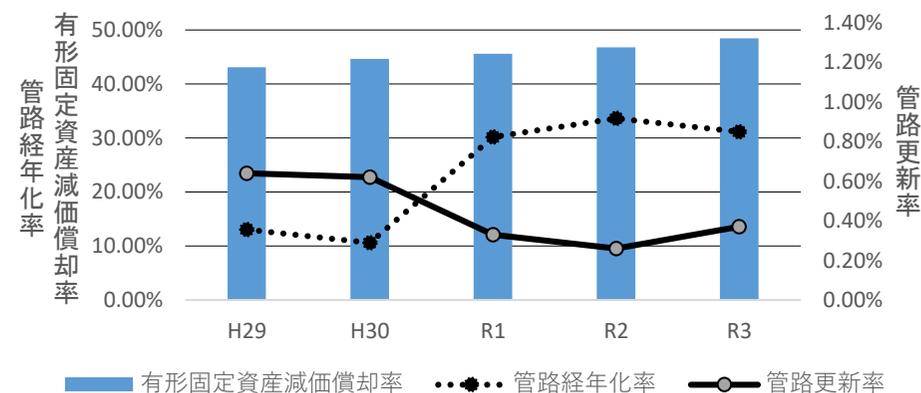
＜経営指標の推移＞

	H29	H30	R1	R2	R3
経常収支比率	101.83%	102.66%	102.97%	104.94%	105.49%
料金回収率	97.19%	98.02%	99.27%	99.87%	102.05%
有形固定資産減価償却率	43.11%	44.66%	45.58%	46.77%	48.47%
管路経年化率	13.04%	10.59%	30.16%	33.62%	31.16%
管路更新率	0.64%	0.62%	0.33%	0.26%	0.37%

経常収支比率・料金回収率の推移



有形固定資産減価償却率・管路経年化率・管路更新率の推移



経費削減の主な取組み

市町合併による新海南市の誕生に伴い、現行の水道料金の適用を開始した平成17年度以降、水道部で取り組んできた経費削減の主な取組みは下表のとおりです。

(単位:千円)

取組内容	効果額
1. 業務体制の見直し	△ 103,389
組織の再編・見直し	—
H21 4課（業務課、工務課、 <u>室山浄水場</u> 、 <u>下津水道事務所</u> ）→3課（業務課、工務課、 <u>施設維持課</u> ）	
R3 3課（業務課、工務課、 <u>施設維持課</u> ）→2課（業務課、工務課）	
職員数の削減 H17年度：36(うち4)人→R3年度：25(うち5)人 ※カッコ内は臨時職員数を示す	△ 103,389
職員数の削減、臨時職員への振替	△ 136,977
室山浄水場等管理運営業務の拡充	33,588
2. 業務の合理化	△ 79,600
施設の管理運営業務の見直し	△ 4,260
R2 下津浄水場施設管理運営業務の見直し	△ 4,260
検針・料金徴収業務の見直し	△ 11,340
H26 隔月検針の導入	△ 6,170
H26 集金業務の廃止	△ 2,600
R3 隔月徴収の導入	△ 2,570
高利率企業債の繰上償還、借換え	△ 64,000
H19・H20・H23・H24 公的資金補償金免除繰上償還制度の活用	△ 64,000
3. 施設の合理化	△ 68,662
H28 簡易水道事業の統合	△ 68,662
計	△ 251,651

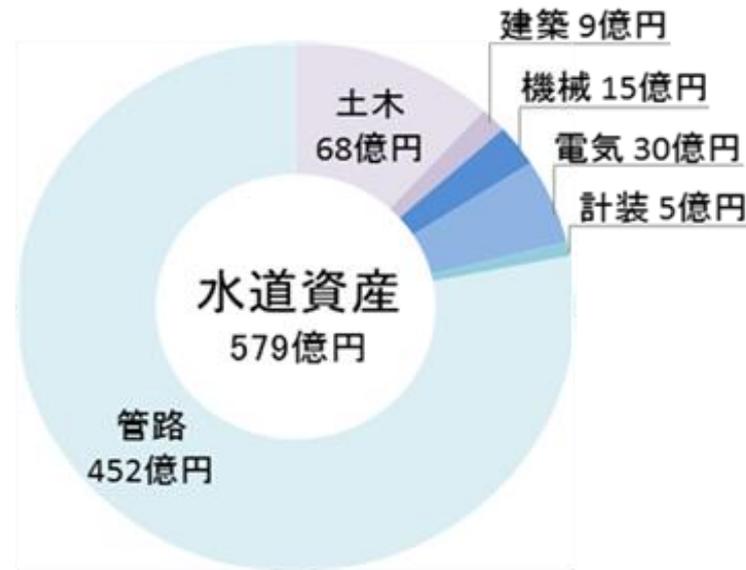
※ 効果額は、平成17年度と令和3年度での比較による額を示す。

財政計画の策定について

投資計画について

水道資産の更新費用

○本市の水道資産を現状規模で更新するためには、579億円必要であると試算しています。



○莫大な資産を維持するためには、投資を平準化しながら施設の重要度を考慮して大地震など緊急時に長期間にわたる大規模断水が生じないよう対策を行うことが最重点課題です。

○経年化した管路・施設については日常支障が生じないよう適正な維持管理により延命化を図り、更新する場合は、計画的・効果的に対策を行うことにより、出来る限り効率的な運営に努める必要があります。

投資計画(建設改良費)

項目	事業名(R1~R15)	目標(H29→R15)
浄水施設の耐震化	<ul style="list-style-type: none"> ・室山浄水場整備事業 約56億円 ・出島水源地導水施設更新事業 約10億円 	海南水道:0%→100%
基幹管路の耐震化	<ul style="list-style-type: none"> ・紀の川導水管更新事業 約25億円 ・基幹管路更新事業 約3億円 	海南水道:43.7%→64.0%
緊急連絡管の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・海南下津相互連絡管布設事業 約4億円 	0%→100%
管路の更新	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽管等更新事業 約33億円 	更新延長:2.5km/年
施設の改修	<ul style="list-style-type: none"> ・施設改修事業 約13億円 	改修施設:3カ所/年
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・事務費等 約10億円 	
合計	約154億円	

財政シミュレーションについて

財政収支の条件

○ 投資計画をもとに令和5年度から令和15年度までの財政収支について試算しました。

別添資料A 財政シミュレーション(現行料金を維持した場合)

収益的収入(営業収益)

- ・令和5年度から令和15年度までの年間有収水量は、経営戦略の水需要予測結果を基本としつつ、平成30年度から令和3年度までの実績を考慮して推計しました。
- ・給水収益は、年間有収水量の推計に平成30年度から令和3年度の平均供給単価(162.5円/m³)を乗じて推計しました。
- ・その他は、令和4年度の決算見込み値で一定としました。

収益的収入(営業外収益)

- ・他会計補助金は、経営戦略と同等の計画値で推計しました。
- ・長期前受金戻入は、新規投資分(対象:国庫補助金と工事負担金)は投資計画に基づき算定した値で推計、既存分は、既計画に基づく値をもとに算定しました。
- ・その他は、令和4年度の決算見込み値で一定と推計しました。

収益的支出(営業費用)

- ・経費は、昨今の物価高騰を考慮し、特に動力費・薬品費については、将来の水需要予測をもとに算定しました。
- ・減価償却費は、新規投資分を投資計画に基づき算定した値で推計、既存分を既計画に基づく値をもとに算定しました。
- ・その他は、令和4年度の決算見込み値で一定と推計しました。

収益的支出(営業外費用)

- ・新規投資分の支払利息の利率は、最新借入実績をもとに0.7%を採用しました。
- ・その他は、令和4年度の決算見込み値で一定と推計しました。

資本的収入

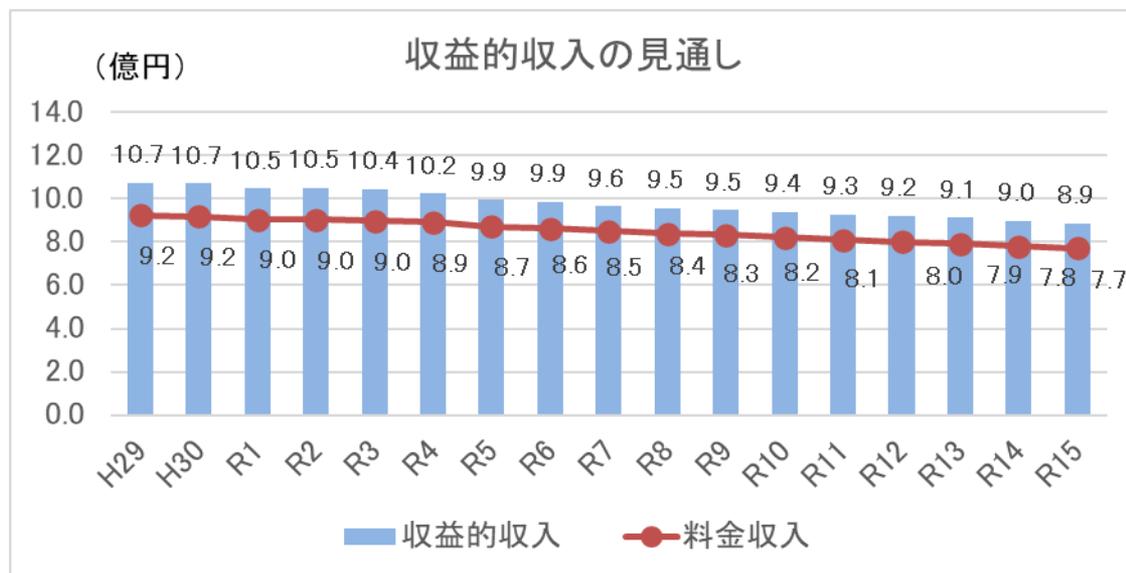
- ・企業債は、新規投資分の建設改良費に対し80%をめどに借り入れるものとし、償還期間を据置5年、その後25年間で償還することとしました。
- ・国庫補助金・工事負担金は、投資計画に基づく事業費をもとに算定しました。

資本的支出

- ・建設改良費は、投資計画に基づく事業費をもとに算定しました。
- ・企業債償還金は、新規投資分を投資計画に基づき算定した値で推計、既存分を既計画に基づく値をもとに算定しました。

収益的収入の見通し

○収益的収入の約9割を占める料金収入は、今後も減少が続くと予測され、これに伴い収益的収入は減少していく見込みです。



【料金収入の減少】

	R3とR15の比較
減少額	1.3億円
減少率	14.4%

【収益的収入の減少】

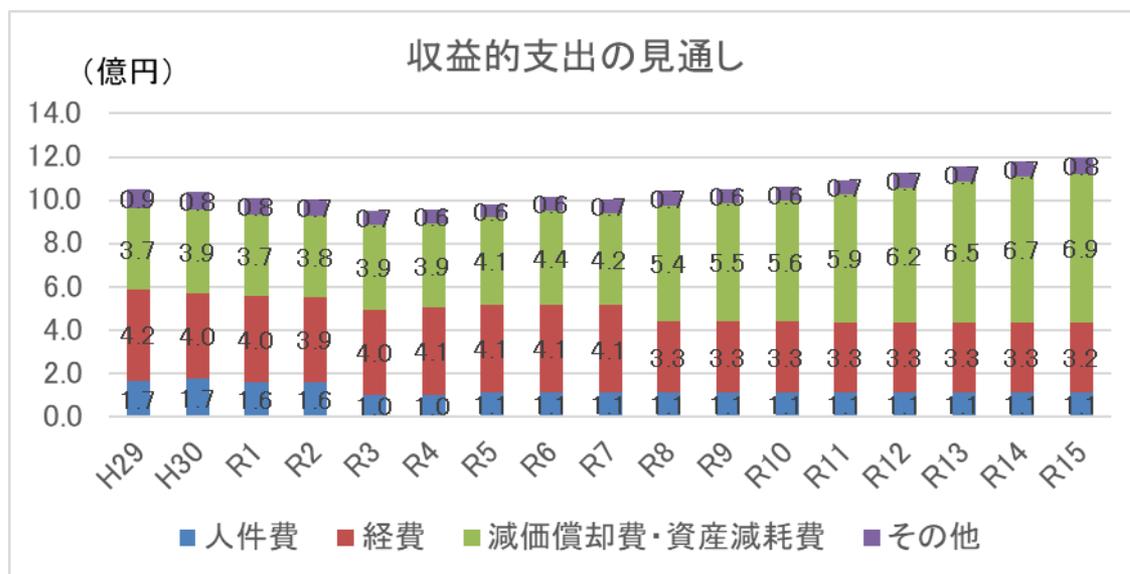
	R3とR15の比較
減少額	1.6億円
減少率	△15.0%

※令和3年度までは実績

※端数処理のため、グラフの合計値と一致しない場合があります

収益的支出の見通し

○今後も引き続き、投資計画に基づき施設や管路の更新を進めることにより、減価償却費が増加するため、支出全体としては増加していく見込みです。



【収益的支出の増加】

	R3とR15の比較
増加額	2.4億円
増加率	25.5%

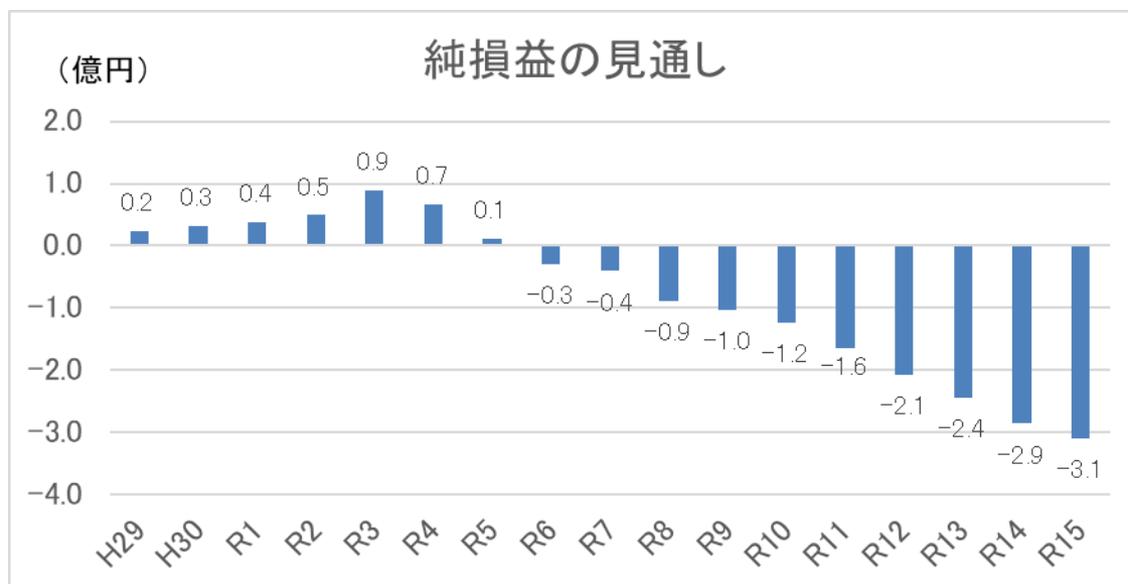
年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
収益的支出 (億円)	10.5	10.4	10.1	10.0	9.5	9.6	9.8	10.1	10.0	10.4	10.5	10.6	10.9	11.3	11.6	11.8	12.0

※令和3年度までは実績

※端数処理のため、グラフの合計値と一致しない場合があります

純損益の見通し

○今後、収入面では料金収入の減少、支出面では減価償却費等の増加により、令和6年度から単年度収支は赤字となる見込みです。



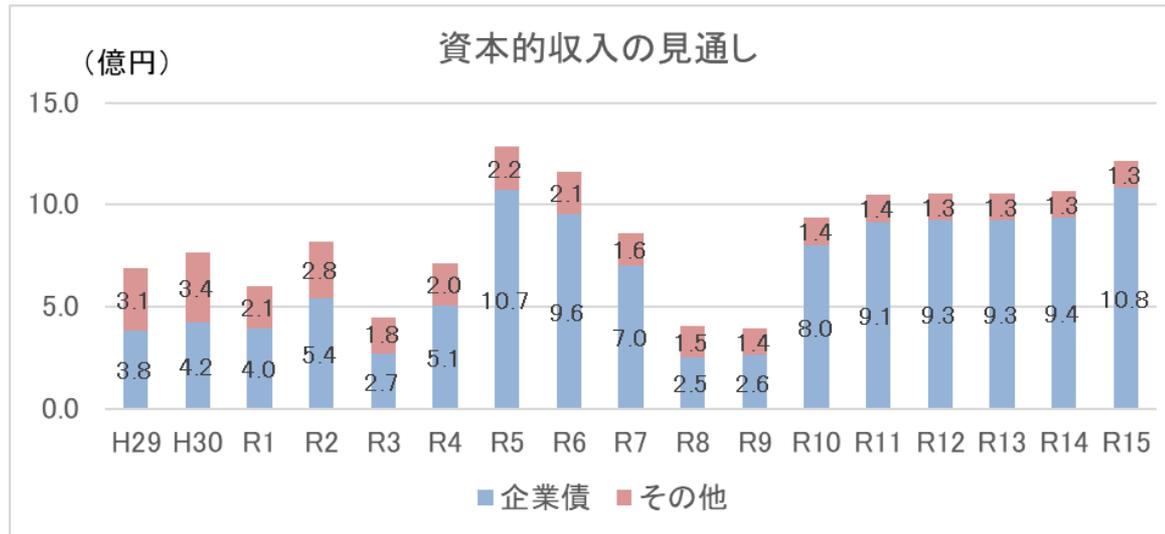
【純損益の増減】

	R3とR15の比較
増減額	△4.0億円

※令和3年度までは実績

資本的収入の見通し

○資本的収入は、企業債による収入が主となりますが、今後の投資計画に合わせ、年度によって増減する見込みです。



年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
資本的収入 (億円)	6.9	7.7	6.0	8.2	4.5	7.1	12.9	11.6	8.6	4.1	4.0	9.4	10.5	10.6	10.6	10.7	12.1

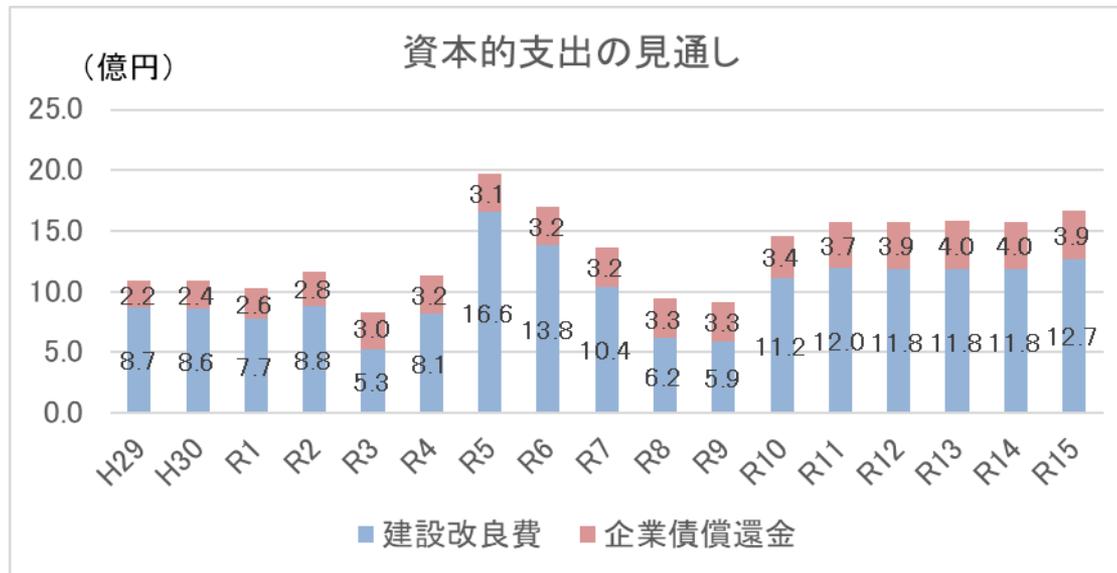
※令和3年度までは実績

※端数処理のため、グラフの合計値と一致しない場合があります

資本的支出の見通し

○建設改良費は、投資計画に基づく事業費を計上しています。

○企業債償還金は、投資計画に基づく事業の実施による企業債の新規発行に伴い、増加する見込みです。



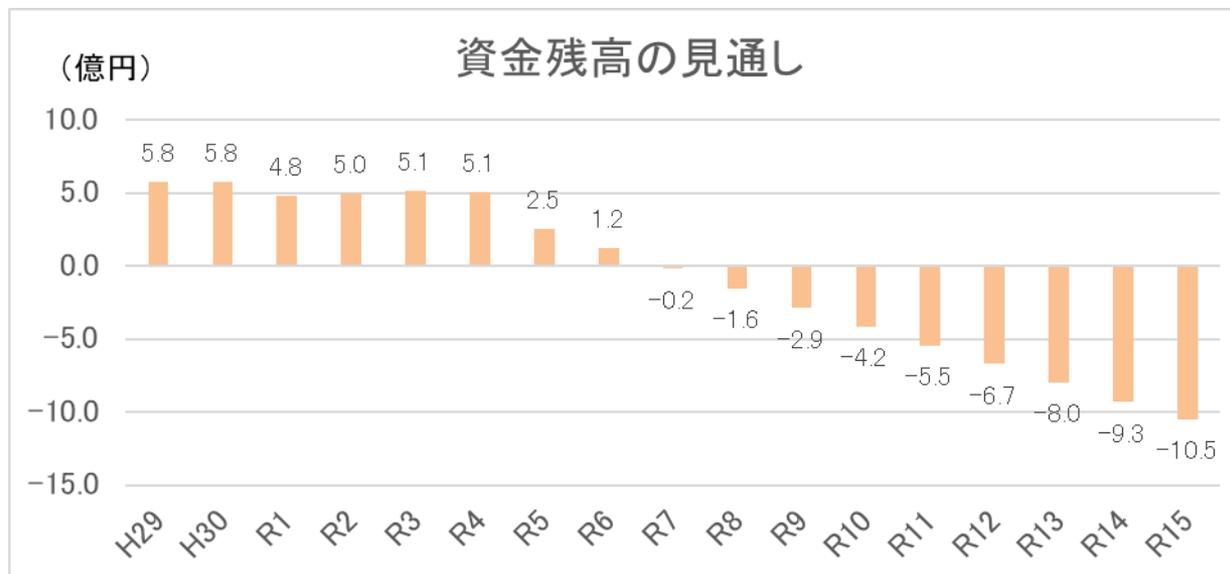
年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
資本的支出 (億円)	10.9	11.0	10.3	11.7	8.3	11.3	19.7	17.0	13.6	9.4	9.1	14.5	15.7	15.8	15.8	15.8	16.7

※令和3年度までは実績

※端数処理のため、グラフの合計値と一致しない場合があります

資金残高の見通し

○資金残高は、現行の料金水準のままでは令和6年度に2.5億円(事業運営に最低限必要な資金)を下回り、令和7年度以降は資金不足が発生する見込みです。



※令和3年度までは実績

水道事業経営の課題

○今後、水需要の減少とともに料金収入は減少する一方、浄水場や重要管路の更新に伴い減価償却費は増加するため、支出は増加する見込みです。このため令和6年度以降は、業務運営に必要な資金の確保が困難となることから、水道事業を健全に運営するための財源の確保が喫緊の課題となっています。

料金水準の算定について

料金算定期間について

- 料金算定期間とは、料金算定の基礎となる原価を集計する期間です。
- 水道料金は、使用者の生活に密着しているため、短期間に変動することは適当ではありません。一方で、算定期間を著しく長期間とすることは、需要の動向等の不確定な要素を多く含み、原価の適正な把握が困難になります。
- 水道施設の核である室山浄水場更新事業の完了(令和15年度完成予定)までを見据えた財源の確保を図る必要があります。



- 料金算定期間は、料金の安定性及び投資計画との整合性の観点から令和6年度から令和15年度までの10年間とします。

料金水準の検討① ～総括原価方式～

○水道料金算定要領に基づき、料金算定の基礎となる総括原価を算出し、この総括原価と料金収入が一致するような料金水準を試算します。



【総括原価方式による試算結果】

単位: 千円

項目	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
費用	1,013,925	1,004,819	1,042,625	1,050,214	1,060,137	1,090,962	1,125,612	1,155,920	1,182,082	1,196,624
控除	21,589	20,870	20,516	20,222	19,925	19,925	19,925	19,925	19,979	19,925
①総括原価	992,336	983,949	1,022,109	1,029,992	1,040,212	1,071,037	1,105,687	1,135,995	1,162,103	1,176,699

単位: 千円

項目	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
②料金収入の見通し	861,888	850,034	840,254	832,808	821,286	809,728	800,659	793,046	779,499	770,371

単位: 千円

項目	R6-R15
①総括原価	10,720,119
②料金収入の見通し	8,159,573
必要改定率(①/②-1)	31.4%

※資産維持費の考慮無し

○現行の料金水準でR6～R15の10年間に投資計画に記載の事業を実施しようとする、料金収入(給水収益)の**31.4%に当たる金額(財源)が不足することになります。**

料金水準の検討② ～検討の条件設定～

- 前述の「料金水準の検討①」では、料金収入の不足額が大きくなるため、資金収支ベースでの検討を行います。
- 検討に当たっては、次の条件を設定することとします。

【検討の条件】

1. 資金残高の確保

- 資金残高2.5億円(料金収入の約3か月分)を確保する。
⇒災害時に収入が途絶えた場合の備え、事業運営上最低限必要な資金の確保

2. 料金改定の時期の設定

- 前述の財政シミュレーションでは、令和6年度以降に純損失及び資金不足が発生するため、令和6年度に料金改定を行うものとして検討を行います。
⇒資金残高が2.5億円を下回る年度が生じないような設定が必要

料金水準の検討②の試算結果

○前述の検討条件を満たす料金収入全体の改定率について試算を行ったところ、



令和6年度に水道料金の平均16%改定（値上げ）

との結果となりました。

これにより、

令和6年度から令和15年度における資金残高2.5億円の確保

が可能となり、

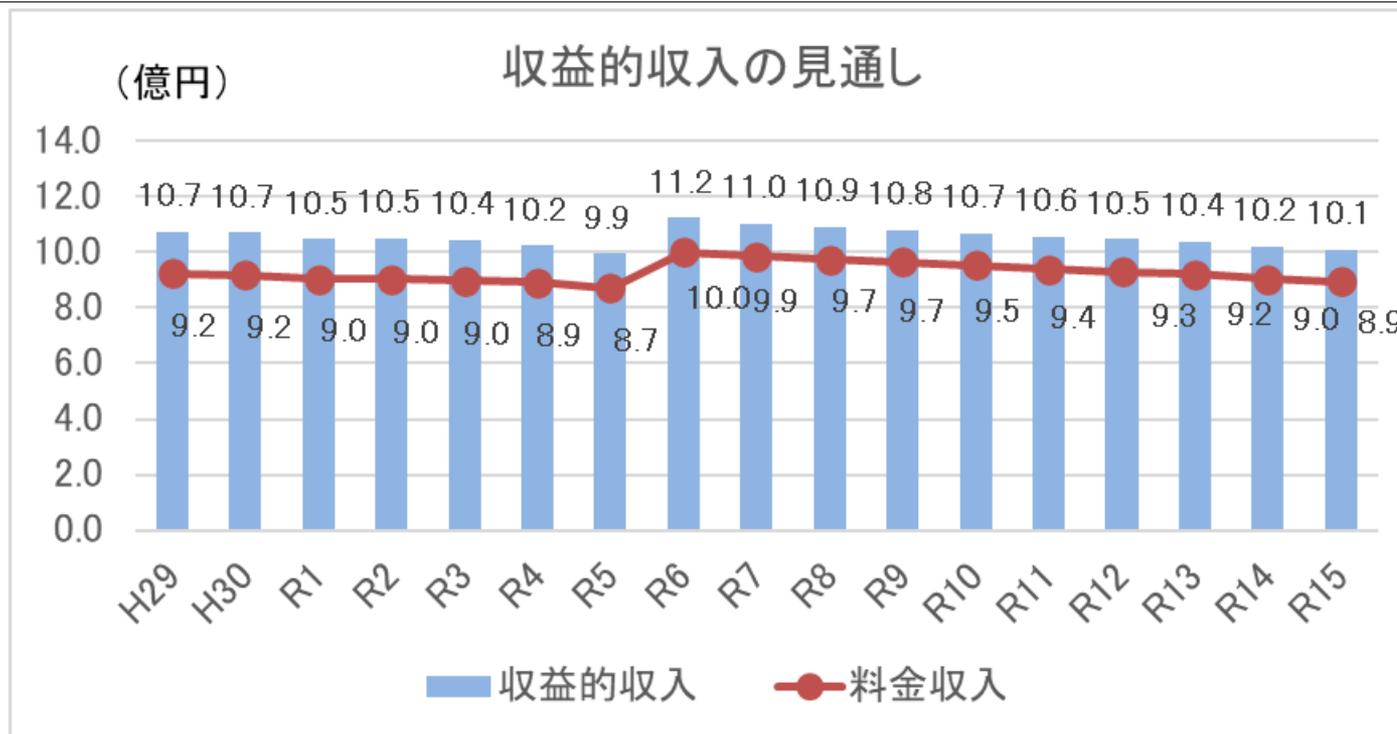
投資計画に記載の事業も計画通り実施できる

こととなります。

詳細は、「別添資料B 財政シミュレーション(料金を改定した場合)」のとおりです。

収益的収入の見通し ～料金改定後～

○料金改定により料金収入が増加し、令和6年度から令和15年度において、毎年、約1.2～1.4億円
の増額が見込まれます。

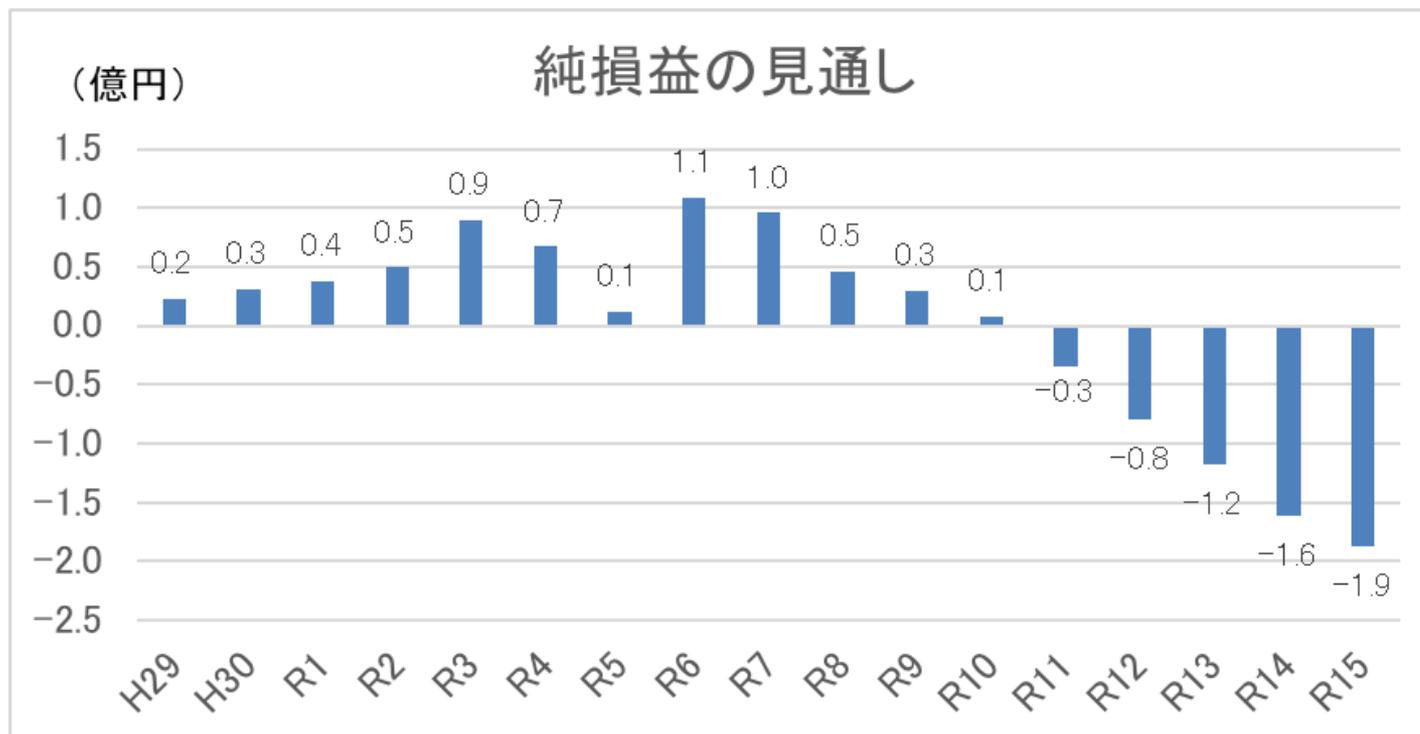


※令和3年度までは実績

年度		H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
料金収入	改定前 (億円)	9.2	9.2	9.0	9.0	9.0	8.9	8.7	8.6	8.5	8.4	8.3	8.2	8.1	8.0	7.9	7.8	7.7
	改定後 (億円)	9.2	9.2	9.0	9.0	9.0	8.9	8.7	10.0	9.9	9.7	9.7	9.5	9.4	9.3	9.2	9.0	8.9
	増減 (億円)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	1.4	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.2	1.2

純損益の見通し

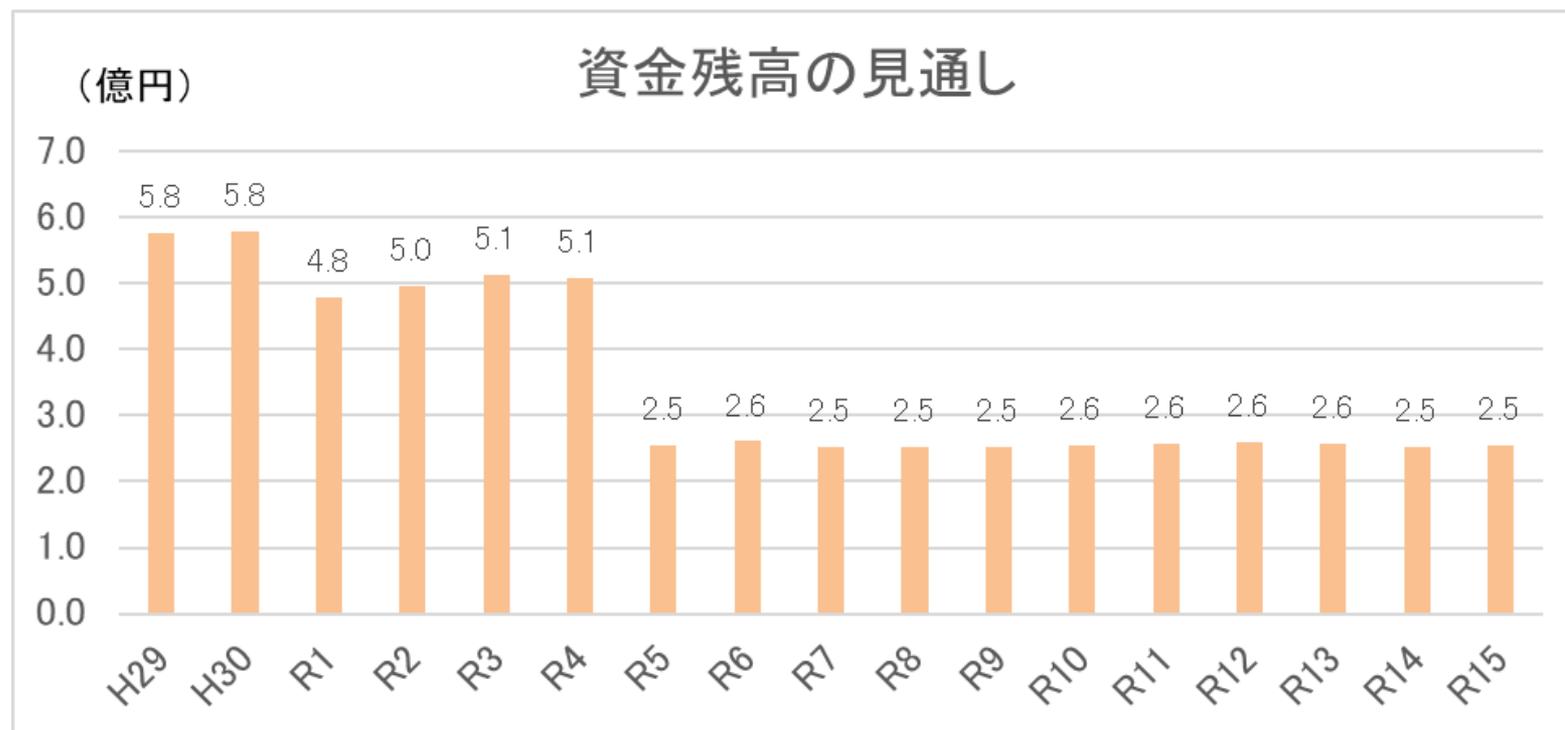
○令和6年度から令和10年度までの5年間で収益的収支の純利益(黒字)の確保が可能となります。



※令和3年度までは実績

資金残高の見通し

○令和15年度末まで約2.5億円の資金の確保が可能となります。

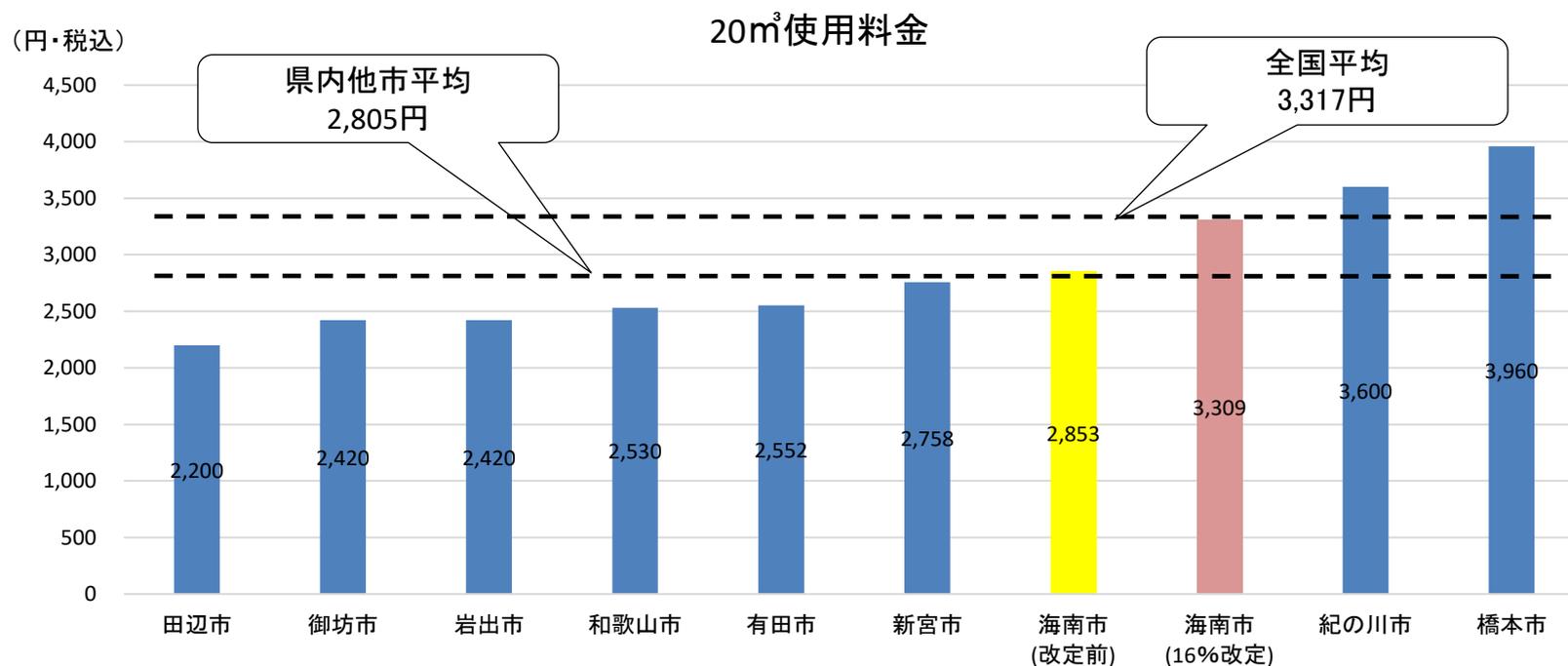


※令和3年度までは実績

県内他市との料金比較 ～料金改定後～

○改定前の現行料金は、和歌山県平均とほぼ同水準で、県内他市との比較では3番目に高い料金となっています。

○改定後の料金は、和歌山県平均を上回り、県内他市との比較では、現行料金の場合と同様、3番目に高い料金となっています。



※「水道料金表(日本水道協会)令和3年4月1日現在」の家事用料金より

別添資料 A 財政シミュレーション（現行料金を維持した場合）

（1）損益勘定（税抜）

項目	年度	決算額															計画値⇒		
		H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	
収益的収入	営業収益	925,463	922,692	906,438	903,707	897,509	892,533	872,134	862,403	850,549	840,769	833,323	821,801	810,243	801,174	793,561	780,014	770,886	
	給水収益	924,460	919,754	904,423	902,871	896,994	890,876	871,619	861,888	850,034	840,254	832,808	821,288	809,728	800,659	793,046	779,499	770,371	
	その他	1,003	2,938	2,015	836	515	1,657	515	515	515	515	515	515	515	515	515	515	515	515
	営業外収益	142,842	143,338	132,188	146,527	108,204	122,761	121,835	122,762	114,175	113,702	114,003	115,166	116,321	117,088	118,172	116,603	115,947	
	受取利息	615	368	97	32	31	30	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24
	他会計補助金	26,733	27,747	17,419	30,959	18,852	10,647	9,712	8,461	7,742	7,388	7,094	6,797	6,797	6,797	6,797	6,797	6,797	6,797
	長期前受金戻入(H)	97,938	100,096	97,550	96,822	74,362	96,948	98,995	101,173	93,305	93,186	93,781	95,241	96,396	97,163	98,247	96,624	96,022	
	雑収益	17,556	15,127	17,122	18,714	14,959	15,136	13,104	13,104	13,104	13,104	13,104	13,104	13,104	13,104	13,104	13,104	13,104	
	特別利益	3,900	3,600	7,700	0	37,545	7,834	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	総収益(A)	1,072,205	1,069,630	1,046,326	1,050,234	1,043,258	1,023,128	993,969	985,165	964,724	954,471	947,326	936,967	926,564	918,262	911,733	896,617	886,833	
収益的支出	営業費用	963,298	956,843	932,029	928,612	886,187	893,210	921,958	951,083	939,690	976,322	985,761	997,217	1,025,802	1,057,620	1,085,129	1,108,585	1,120,235	
	職員給与費	165,711	174,033	157,997	156,606	100,324	98,545	109,243	109,243	109,243	109,243	109,243	109,243	109,243	109,243	109,243	109,243	109,243	
	経費	422,974	397,629	402,097	394,073	395,269	407,984	407,305	406,639	405,826	329,699	329,189	328,399	327,608	326,987	326,465	325,537	324,912	
	減価償却費(F)	368,830	371,114	370,323	377,112	383,394	384,430	403,015	432,806	422,226	534,985	544,934	557,180	586,556	618,995	647,026	671,410	683,685	
	資産減耗費(G)	5,783	14,067	1,612	248	7,200	2,251	2,251	2,251	2,251	2,251	2,251	2,251	2,251	2,251	2,251	2,251	2,251	
	その他営業費用	0	0	0	573	0	0	144	144	144	144	144	144	144	144	144	144	144	
	営業外費用	85,793	81,540	76,600	72,221	67,188	62,602	60,506	62,842	65,129	66,303	64,453	62,920	65,160	67,992	70,791	73,497	76,389	
	支払利息	84,986	80,961	76,275	71,186	66,801	62,238	59,886	62,222	64,509	65,683	63,833	62,300	64,540	67,372	70,171	72,877	75,769	
	雑支出	807	579	325	1,035	387	364	620	620	620	620	620	620	620	620	620	620	620	
	総費用(B)	1,049,091	1,038,383	1,008,629	1,000,833	953,375	955,812	982,464	1,013,925	1,004,819	1,042,625	1,050,214	1,060,137	1,090,962	1,125,612	1,155,920	1,182,082	1,196,624	
当年度純損益(I)=(A-B)	23,114	31,247	37,697	49,401	89,883	67,316	11,505	△ 28,760	△ 40,095	△ 88,154	△ 102,888	△ 123,170	△ 164,398	△ 207,350	△ 244,187	△ 285,465	△ 309,791		

（2）資本勘定（税込）

項目	決算額															計画値⇒		
	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	
資本的収入	企業債	380,600	421,800	395,600	540,800	269,300	508,400	1,072,827	955,717	703,875	251,580	262,370	803,790	912,615	925,136	925,136	936,282	1,084,160
	他会計出資金	94,754	115,958	49,409	85,076	82,369	81,538	90,185	47,962	43,599	42,406	42,660	42,916	42,916	42,916	42,916	42,916	42,916
	他会計補助金	5,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	国庫補助金	182,151	220,000	143,585	171,059	94,916	94,749	103,916	139,815	90,763	91,417	71,580	71,297	72,698	66,666	66,666	66,666	66,666
	工事負担金	24,673	7,240	11,092	21,104	2,069	25,000	21,104	21,104	21,104	21,104	21,104	21,104	21,104	21,104	21,104	21,104	21,104
	分担金	1,595	231	1,605	1,777	644	1,933	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計(C)	688,773	765,229	601,291	819,816	449,298	711,620	1,288,032	1,164,598	859,341	406,507	397,714	939,107	1,049,333	1,055,822	1,055,822	1,066,968	1,214,846
資本的支出	建設改良費	870,323	858,754	771,810	883,107	528,132	814,147	1,658,738	1,381,006	1,041,946	615,541	586,030	1,115,180	1,199,383	1,181,288	1,181,288	1,181,288	1,271,288
	企業債償還金	217,598	237,031	260,750	281,970	304,551	318,741	309,876	321,425	321,104	327,789	326,797	338,787	373,614	393,542	401,822	396,847	393,977
	計(D)	1,087,921	1,095,785	1,032,560	1,165,077	832,683	1,132,888	1,968,614	1,702,431	1,363,050	943,330	912,827	1,453,967	1,572,997	1,574,830	1,583,110	1,578,135	1,665,265
資本的収支不足額(E)=(C-D)	△ 399,148	△ 330,556	△ 431,269	△ 345,261	△ 383,385	△ 421,268	△ 680,582	△ 537,833	△ 503,709	△ 536,823	△ 515,113	△ 514,860	△ 523,664	△ 519,008	△ 527,288	△ 511,167	△ 450,419	

（3）業務指標（税込）

決算額																計画値⇒	
H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	
企業債残高	5,447,518	5,632,287	5,767,137	6,025,967	5,990,716	6,180,375	6,943,326	7,577,618	7,960,389	7,884,180	7,819,753	8,284,756	8,823,757	9,355,351	9,878,665	10,418,100	11,108,283
現金収支(E+L)	△ 57,365	26,649	△ 79,196	41,616	18,855	△ 14,529	△ 242,171	△ 132,272	△ 136,854	△ 136,160	△ 121,977	△ 92,736	△ 108,423	△ 116,363	△ 134,533	△ 133,683	△ 77,839
資金残高	575,649	578,662	478,293	495,829	512,231	508,687	254,967	123,016	△ 20,523	△ 155,691	△ 289,658	△ 417,221	△ 545,572	△ 670,215	△ 799,773	△ 930,586	△ 1,050,654
補填財源(L)	341,783	357,205	352,073	386,877	402,240	406,739	438,411	405,561	366,855	400,663	393,136	422,124	415,241	402,645	392,755	377,484	372,580
損益勘定留保資金(K)=(F+G-H+I)	297,595	314,706	303,158	329,940	368,571	349,215	317,776	305,124	291,077	355,896	350,516	341,020	328,013	316,733	306,843	291,572	280,123
消費税資本的収支調整額(J)	44,188	42,499	48,915	56,937	33,669	57,524	120,635	100,437	75,778	44,767	42,620	81,104	87,228	85,912	85,912	85,912	92,457

別添資料 B 財政シミュレーション（料金を改定した場合）

(1) 損益勘定（税抜）

項目	年度	決算額																計画値⇒
		H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	
収益的収入	営業収益	925,463	922,692	906,438	903,707	897,509	892,533	872,134	1,000,305	986,554	975,209	966,573	953,207	939,799	929,280	920,448	904,734	894,145
	給水収益	924,460	919,754	904,423	902,871	896,994	890,876	871,619	999,790	986,039	974,694	966,058	952,692	939,284	928,765	919,933	904,219	893,630
	その他	1,003	2,938	2,015	836	515	1,657	515	515	515	515	515	515	515	515	515	515	515
	営業外収益	142,842	143,338	132,188	146,527	108,204	122,761	121,835	122,762	114,175	113,702	114,003	115,166	116,321	117,088	118,172	116,603	115,947
	受取利息	615	368	97	32	31	30	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24
	他会計補助金	26,733	27,747	17,419	30,959	18,852	10,647	9,712	8,461	7,742	7,388	7,094	6,797	6,797	6,797	6,797	6,797	6,797
	長期前受金戻入(H)	97,938	100,096	97,550	96,822	74,362	96,948	98,995	101,173	93,305	93,186	93,781	95,241	96,396	97,163	98,247	96,624	96,022
	雑収益	17,556	15,127	17,122	18,714	14,959	15,136	13,104	13,104	13,104	13,104	13,104	13,104	13,104	13,104	13,104	13,104	13,104
	特別利益	3,900	3,600	7,700	0	37,545	7,834	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	総収益(A)	1,072,205	1,069,630	1,046,326	1,050,234	1,043,258	1,023,128	993,969	1,123,067	1,100,729	1,088,911	1,080,576	1,068,373	1,056,120	1,046,368	1,038,620	1,021,337	1,010,092
収益的支出	営業費用	963,298	956,843	932,029	928,612	886,187	893,210	921,958	951,083	939,690	976,322	985,761	997,217	1,025,802	1,057,620	1,085,129	1,108,585	1,120,235
	職員給与費	165,711	174,033	157,997	156,606	100,324	98,545	109,243	109,243	109,243	109,243	109,243	109,243	109,243	109,243	109,243	109,243	109,243
	経費	422,974	397,629	402,097	394,073	395,269	407,984	407,305	406,639	405,826	329,699	329,189	328,399	327,608	326,987	326,465	325,537	324,912
	減価償却費(F)	368,830	371,114	370,323	377,112	383,394	384,430	403,015	432,806	422,226	534,985	544,934	557,180	586,556	618,995	647,026	671,410	683,685
	資産減耗費(G)	5,783	14,067	1,612	248	7,200	2,251	2,251	2,251	2,251	2,251	2,251	2,251	2,251	2,251	2,251	2,251	2,251
	その他営業費用	0	0	0	573	0	0	144	144	144	144	144	144	144	144	144	144	144
	営業外費用	85,793	81,540	76,600	72,221	67,188	62,602	60,506	62,842	65,129	66,303	64,453	62,920	65,160	67,992	70,791	73,497	76,389
	支払利息	84,986	80,961	76,275	71,186	66,801	62,238	59,886	62,222	64,509	65,683	63,833	62,300	64,540	67,372	70,171	72,877	75,769
	雑支出	807	579	325	1,035	387	364	620	620	620	620	620	620	620	620	620	620	620
	総費用(B)	1,049,091	1,038,383	1,008,629	1,000,833	953,375	955,812	982,464	1,013,925	1,004,819	1,042,625	1,050,214	1,060,137	1,090,962	1,125,612	1,155,920	1,182,082	1,196,624
当年度純損益(I)=(A-B)	23,114	31,247	37,697	49,401	89,883	67,316	11,505	109,142	95,910	46,286	30,362	8,236	△ 34,842	△ 79,244	△ 117,300	△ 160,745	△ 186,532	

(2) 資本勘定（税込）

項目	決算額																計画値⇒	
	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14		R15
資本的収入	企業債	380,600	421,800	395,600	540,800	269,300	508,400	1,072,827	955,717	703,875	251,580	262,370	803,790	912,615	925,136	925,136	936,282	1,084,160
	他会計出資金	94,754	115,958	49,409	85,076	82,369	81,538	90,185	47,962	43,599	42,406	42,660	42,916	42,916	42,916	42,916	42,916	42,916
	他会計補助金	5,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	国庫補助金	182,151	220,000	143,585	171,059	94,916	94,749	103,916	139,815	90,763	91,417	71,580	71,297	72,698	66,666	66,666	66,666	66,666
	工事負担金	24,673	7,240	11,092	21,104	2,069	25,000	21,104	21,104	21,104	21,104	21,104	21,104	21,104	21,104	21,104	21,104	21,104
	分担金	1,595	231	1,605	1,777	644	1,933	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計(C)	688,773	765,229	601,291	819,816	449,298	711,620	1,288,032	1,164,598	859,341	406,507	397,714	939,107	1,049,333	1,055,822	1,055,822	1,066,968	1,214,846	
資本的支出	建設改良費	870,323	858,754	771,810	883,107	528,132	814,147	1,658,738	1,381,006	1,041,946	615,541	586,030	1,115,180	1,199,383	1,181,288	1,181,288	1,181,288	1,271,288
	企業債償還金	217,598	237,031	260,750	281,970	304,551	318,741	309,876	321,425	321,104	327,789	326,797	338,787	373,614	393,542	401,822	396,847	393,977
	計(D)	1,087,921	1,095,785	1,032,560	1,165,077	832,683	1,132,888	1,968,614	1,702,431	1,363,050	943,330	912,827	1,453,967	1,572,997	1,574,830	1,583,110	1,578,135	1,665,265
資本的収支不足額(E)=(C-D)	△ 399,148	△ 330,556	△ 431,269	△ 345,261	△ 383,385	△ 421,268	△ 680,582	△ 537,833	△ 503,709	△ 536,823	△ 515,113	△ 514,860	△ 523,664	△ 519,008	△ 527,288	△ 511,167	△ 450,419	

(3) 業務指標（税込）

項目	決算額																計画値⇒
	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	
企業債残高	5,447,518	5,632,287	5,767,137	6,025,967	5,990,716	6,180,375	6,943,326	7,577,618	7,960,389	7,884,180	7,819,753	8,284,756	8,823,757	9,355,351	9,878,665	10,418,100	11,108,283
現金収支(E+L)	△ 57,365	26,649	△ 79,196	41,616	18,855	△ 14,529	△ 242,171	5,630	△ 849	△ 1,720	11,273	38,670	21,133	11,743	△ 7,646	△ 8,963	45,420
資金残高	575,649	578,662	478,293	495,829	512,231	508,687	254,967	260,918	253,384	252,656	251,939	256,782	256,987	260,450	257,779	251,686	254,877
補填財源(L)	341,783	357,205	352,073	386,877	402,240	406,739	438,411	543,463	502,860	535,103	526,386	553,530	544,797	530,751	519,642	502,204	495,839
損益勘定留保資金(K)=(F+G-H+I)	297,595	314,706	303,158	329,940	368,571	349,215	317,776	443,026	427,082	490,336	483,766	472,426	457,569	444,839	433,730	416,292	403,382
消費税資本的収支調整額(J)	44,188	42,499	48,915	56,937	33,669	57,524	120,635	100,437	75,778	44,767	42,620	81,104	87,228	85,912	85,912	85,912	92,457